

教育学部・教育学研究科 におけるFD

京都大学
教育学研究科
楠見 孝

平成22年12月

1

1. 部局のFDの状況と課題

1.1 教員対象のFD

1. 部局に常設した自己点検評価委員会を中心に、学生による授業評価のために、独自のアンケートを設計して、2005年から年1回定期的に実施し、その分析と問題点と改善の方向をとりまとめた授業評価報告書の作成と公表をしている。
2. この報告書をテキストにして、教員間で評価の情報を共有し、教員全員が参加するFDのための会を継続的に実施して、授業の改善に向けて本研究科メンバーの意識を高めている。
3. アンケート調査を実施した授業担当者には、自らの授業への学生の評価のデータを渡して、授業の改善とFDに役立てている。

2

4. 2002年から隔年に発行する自己点検評価報告書によってすべての教員が教育活動について自己評価を行って、FDに役立て授業改善, さらに教務委員会, 制度検討委員会などの委員会も自己評価を行いカリキュラム改善, 教育組織・制度の改善に努めている。

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/image/jikotenken2008-digest.pdf>

5. 2008年度には、教授歴3年以上の教授に対して教員評価を実施し、「過去3年間にわたる事実の記載とそれに対する自己評価」とそれに基づく評価委員会との面談によって教員の教育活動についての自己評価を行って、ファカルティの成長に役立てている。
6. 自己点検・評価委員会と制度検討委員会とで検討した結果研究科としての評価のスキームの全体的な見直しを計っている
 - 認証評価や法人評価の結果を、研究科の実質的な質的向上に結びつけるため、評価サイクルの見直しや、評価や未来設計に関わる委員会の統廃合をおこなっている

3

6回の授業/教育への評価の実施状況

2005年度 12月 回収率58% 297部

- 演習・ゼミナールで学部生対象13科目, 院生対象19科目
(全10講座のうち各講座それぞれ1-2科目)

- (1)満足度, 得たものなどの学生の主体的見地からの評価
- (2)授業に向かうときの期待や達成感, 参加度の自己評価
- (3)授業担当者が独自に求める成果の実現の度合いの自己評価

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/jyugyouhyouka/jyugyouhyouka2005.pdf>

2006年度 6-7月 286部

- 演習・ゼミナールで学部生対象18科目, 院生対象14科目
(各講座1-2科目)

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/jyugyouhyouka/jyugyouhyouka2006.pdf>

4

2007年度 11月 回収率97% 388部

- 講義で学部生対象10科目(各講座1-2科目)

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/jyugyouhyouka/jyugyouhyouka2007.pdf>

2008年度 6-7月 回収率95% 360部

- 講義で学部生対象9科目(各講座1-2科目)

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/jyugyouhyouka/jyugyouhyouka2008.pdf>

2009年度 6-7月 回収率95% 476部

- 学部生対象講義6科目, 演習9科目(各講座1-2科目)

2009年度 12月 院生回収率 51% 110部

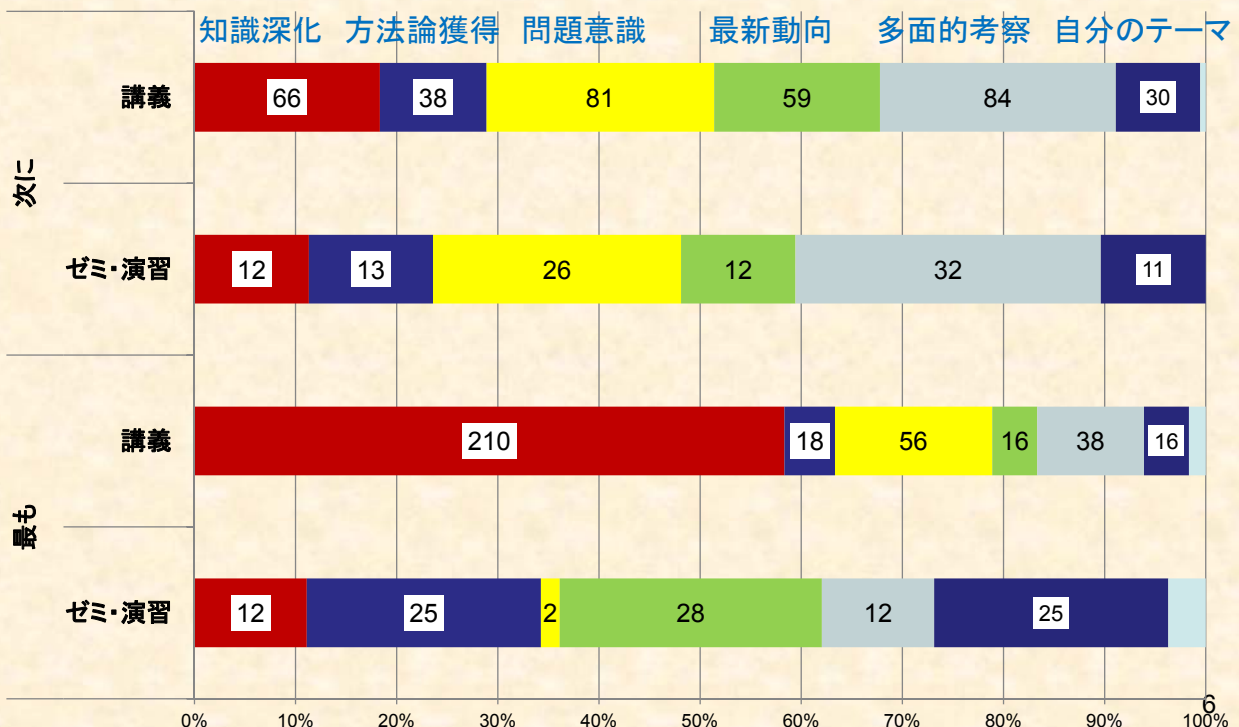
学部4回生 51% 39部

- 学部,大学院の教育全般について

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/image/hyouka-gakusei-enquete-daigakuinn.pdf>

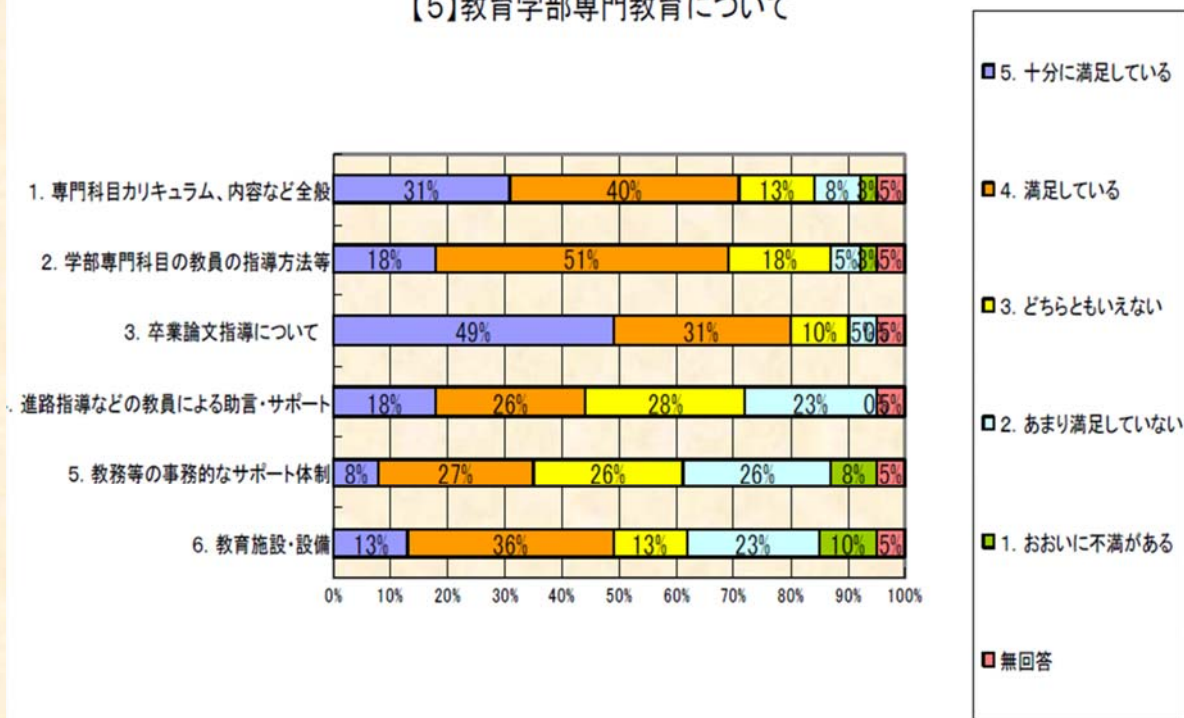
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kouhou/image/hyouka-gakusei-enquete-gakubu.pdf>

授業について「もっとも期待すること」 「次に期待すること」(2009)



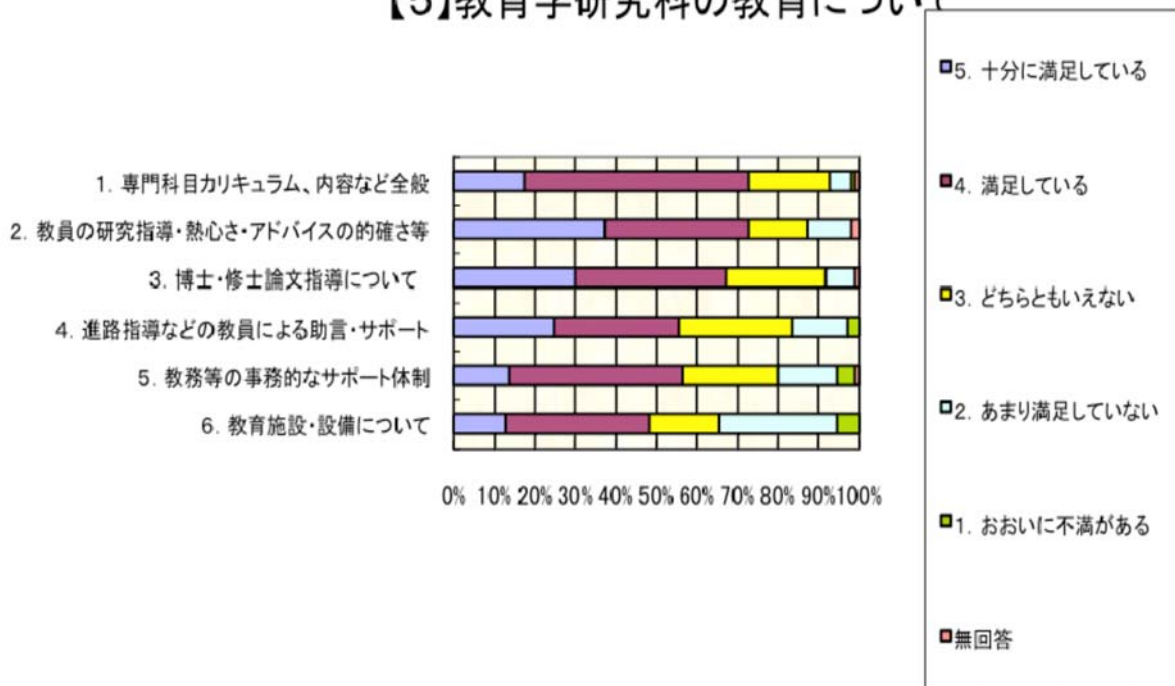
学部専門教育全体について:4回生(2009)

【5】教育学部専門教育について



大学院教育全体について:院生(2009)

【5】教育学研究科の教育について



1.2 院生対象のプレFD

院生主導型研究開発コロキウム

- 2006年から大学院科目「研究開発コロキウム」として編成され、授業時間割に組み込まれ、修士課程院生、学部3-4年生が参加する前後期の授業科目になっている(毎年約20科目)
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/gcoe/educational/col.php>
- 公募により選抜を経たコロキウム担当の院生は、指導教員の支援のもと、シラバスの作成、授業の実施、評価を通して、大学教員として必要なスキルと知識を習得している。
 - 「[魅力ある大学院教育](#)」イニシアティブでの研究開発コロキウムの成果を引き継ぐ形で、[グローバルCOEプログラム](#)だけではなく、本研究科の教育実践コラボレーションセンター、大学院改革支援プログラムとの連携で進めてきた。

9

1.3 FD活用のためのアーカイブ作成

- 学習管理システム「[Moodle@京大教育](#)」を活用し、2006年から講義や演習の記録保存(アーカイブ)化を進めている。
<http://lms.educ.kyoto-u.ac.jp/>



10

1.4 部局のFDの課題

- 授業評価とFD
 - 学部・研究科にあった評価とは何かを問う「評価の哲学」を構築する必要性
 - 自己点検/授業評価などを, 教員の成長, カリキュラム, 組織の改善に結びつける組織的取り組み
 - 授業評価の実施と分析, とりまとめに多大な労力
 - 学生を交えての討論の機会を設ける
- 大学院生対象のFD
 - 各院生のFD履歴を記録するポートフォリオなどの作成
- アーカイブの作成
 - Moodleを利用する教員が一部に限られている

2. 部局から全学に提供できる知見

授業評価のためのマークシートと自由記述併用型アンケート

学生による授業アンケート		一回答用紙 (A) ー						
問0	所属 (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 総合入塾	<input type="radio"/> 文	<input type="radio"/> 教育	<input type="radio"/> 法	<input type="radio"/> 経済	<input type="radio"/> 理	
		<input type="radio"/> 医	<input type="radio"/> 薬	<input type="radio"/> 工	<input type="radio"/> 農	<input type="radio"/> その他 ()		
	回生 (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 1回生 (文系入塾)	<input type="radio"/> 1回生 (理系入塾)	<input type="radio"/> 2回生 (文系入塾)	<input type="radio"/> 2回生 (理系入塾)	<input type="radio"/> 3回生	<input type="radio"/> 4回生	
	<input type="radio"/> 5回生以上	<input type="radio"/> 修士	<input type="radio"/> 博士	<input type="radio"/> 専攻生・科目専攻生	<input type="radio"/> その他 ()			
	性別 (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 男	<input type="radio"/> 女					
問1-(1)	この授業について、	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない		
	満足している (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	得たものがある (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	* 役に立った (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
問1-(2)	「問1-(1)*役に立った」で、 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた場合のみ記述 (自由記述)							
問2	右記の選択肢から 当てはまるものを全て選んで下さい (○をいくつでも)	<input type="radio"/> おもしろかった	<input type="radio"/> つまらなかった	<input type="radio"/> 考えさせられた	<input type="radio"/> わずかしかった	<input type="radio"/> 考えが深まった		
		<input type="radio"/> 負担が大きかった	<input type="radio"/> 認識が変わった	<input type="radio"/> たいくつだった	<input type="radio"/> 自分の興味がなかった	<input type="radio"/> ありきたりだった		
		<input type="radio"/> 視野が開けた	<input type="radio"/> なじめなかった	<input type="radio"/> 熱意が伝わった	<input type="radio"/> ついていけないかった	<input type="radio"/> 驚かれたものがある		
問3	「最も」当てはまるもの (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> f	<input type="radio"/> g その他 ()
	「次に」当てはまるもの (○を一つだけ選択)	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> f	<input type="radio"/> g その他 ()
問4-(1)	問3で選んだことからの達成度 (○を一つだけ)	<input type="radio"/> 達成できている	<input type="radio"/> まあまあ達成できている	<input type="radio"/> あまり達成できていない	<input type="radio"/> まったく達成できていない			
問4-(2)	問4-(1)の理由について詳細に記述 (自由記述)							
問4-(3)	問4-(1)で「あまり達成できていない」「全く達成できていない」と答えた場合のみ記述 (自由記述)							

回収率を高める工夫:授業時にほぼ全員から回収するA票とじっくり答えてもらうB票に分ける

学生による授業アンケート		一回答用紙 ②					
問0	所属 (〇を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 総合入塾	<input type="radio"/> 文	<input type="radio"/> 教育	<input type="radio"/> 法	<input type="radio"/> 経済	<input type="radio"/> 理
	学年 (〇を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 医	<input type="radio"/> 基	<input type="radio"/> 工	<input type="radio"/> 農	<input type="radio"/> その他 ()	
	性別 (〇を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 1年生 (文系入塾)	<input type="radio"/> 1年生 (理系入塾)	<input type="radio"/> 2年生 (文系入塾)	<input type="radio"/> 2年生 (理系入塾)	<input type="radio"/> 3年生	<input type="radio"/> 4年生
		<input type="radio"/> 5年生以上	<input type="radio"/> 修士	<input type="radio"/> 博士	<input type="radio"/> 院生・科目登録生	<input type="radio"/> その他 ()	
問5	ここがけていること (〇を三つまで選択)	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> f
		<input type="radio"/> g	<input type="radio"/> h	その他 ()			
問6	聞けることがらに取り組み際に工夫・改善した方がよいと思うこと (自由記述)						
問7-(1)	事前の期待通りに得られていること (自由記述)						
問7-(2)	事前に期待したのに得られていないこと (自由記述)						
問7-(3)	授業前に期待していなかったが結果として得られていること (自由記述)						
問8	担当教員に特に伝えたいこと (自由記述)						
問9-(1)	昨年度までに、この『授業アンケート』に回答した回数 (〇を一つだけ選択)	<input type="radio"/> 0回	<input type="radio"/> 1回	<input type="radio"/> 2回	<input type="radio"/> 3回以上		
問9-(2)	問9-(1)で「1回以上」と答えた場合のみ、『授業アンケート』回答による自分自身の変化 (自由記述)						

13

授業評価のためのアンケートの特色

- 一般的に行われる「授業を担当する教員を評価するだけの授業アンケート」ではない
- 授業(教員)の評価と同時に、学生自身の授業への参加態度も自己評価させる、複合型のアンケート
- 学生もその授業を成立させる重要な構成員であるという考えのもと、学生自身の授業への参加態度について自己評価や振り返りを促すような質問項目が複数含まれている。
- シラバスどおりに授業が進められたかということではなく、授業の中で、当初予定・予想していなかった新たな発見や展開等があったかをきく
- 毎年、評価方法の改善をはかっている

学生に自分の受講・参加態度と関連づけて、評価をきくために 選択肢と自由記述を組み合わせた質問例

問5. あなたがこの授業を受ける中で、心がけていることや気をつけていることは
どんなことですか？(最も当てはまるものを3つまで)

- a. 毎回、欠かさず出席するようにしている。
- b. 毎回、能動的に授業に臨むようにしている。
- c. 授業以外でも、自主的に勉強するようにしている。
- d. 自分の問題意識と照らし合わせて授業内容を理解しようと努めている。
- e. 積極的に発言し、教員に質問するように心がけている。
- f. 時間内に、自分の疑問点やわからないところをそのままにしない。
- g. 集中して授業を聴くようにしている。
- h. その他()

問6. 問5で挙げたことに取り組もうとするときに、**授業のやりかたや時間の使い方などが今とは違っていればよいと考えることがありますか？ 工夫・改善した方がよいと思える点について書いてください。**(自由記述)

15

問5で挙げたことに取り組もうとするときに、授業のやりかたや時間の使い方などが今とは違っていればよいと考えることがありますか？ 工夫・改善した方がよいと思える点

教員の授業の進め方や授業構成については

- 「後ろの方まで声が聞こえるようにしてほしい」
- 「もう少し講義のスピードをおとしていただけたらと思います」
- 「もう少しゆっくり内容を整理しながら進んでほしい」
- 「今日やることについて、初めに大まかな枠を言っておいてほしい」
- 「全体の流れを大筋で始めに示すこと」
- 「個別のことを詳しくやる前に全体の体系の中でどの位置にあるのかをはっきりさせてほしい」
- 「テーマ毎にもっと時間をかけてから、次のテーマに移る」
- 「例えば身近な問題→これまでの研究→現在どのように発展しているか...といったように順を追って説明する等」
- 「ポイントとなる事柄をくり返し言ってほしい」
- 「授業内容がどの領域に関連しているのかもっと具体的に詳しくわかると良い」

講義内容を提示する際の補助手段については.....

- 「板書が後で読みかえした際に脈絡を取りやすく、理解しやすいものであれば良い」
- 「(口頭での説明が)ノートに取りきれない時があるので、もう少し板書をしてほしい」
- 「板書をもっと丁寧に書いてほしい」
- 「授業の内容を資料としてまとめてほしい」
- 「板書がとりにくかったり、イメージしにくかったりするので、レジュメを多くした方がいい」
- 「もう少し詳しいレジュメがあれば余裕を持って講義を聴けると思います」
- 「講義内容が膨大なので、ノートをとることが大変。パワーポイントと、レジュメを用意してほしい」

参考文献などの情報提供については.....

- 「参考書などをもっと紹介してほしい」
- 「講義を理解するために参考になる図書を授業中に紹介してほしい」
- 「参考文献の提示や自主的に読むレジュメ等の配布」

学生の授業参加や感想・意見の反映の仕方については.....

- 「トピックを取り上げての討論やグループ毎での意見交換など、こちら側にも強制的にアクションを求める授業形態なら良かったと思います」
- 「講義形式だけでなく、生徒参加型の授業形態を取り入れるべき」
- 「授業中に少しでも学生の意見を求めるような時間をとってみてもいいのではないかと」
- 「授業中に自分の問題意識を教員に伝える機会がないので、アンケートのようなものをとってほしい」
- 「質問やコメントが共有できるとよいと思います(コピーを配布するなどして)」
- 「コメントカードの導入や、そこで書かれたことに対するフィードバックが(次の授業で)あればいい」
- 「(コメントの)レポート用紙を授業の最初に配ってほしい。初め、「あっ、なるほど」と思った事柄を忘れてしまうので」

時間配分と出席については.....

- 「少し早く終わって質問の時間をとればどうでしょう」
- 「もう少し時間内に終わるようにペース配分をしてほしい」
- 「自分としては、毎回出席をとってくれた方が、やる気が出ます」
- 「出席をとらない方が逆に出席するので(私の場合)、出席をとってなくてよかったです」

自由回答の結果： 問7(3)授業前に期待していなかったが結果として得られていること

- 「自分について、『考える』そのものについて見直す姿勢」
- 「それぞれのテーマが思った以上に深いということに気づけたこと。また、そうしたものに向き合う態度」
- 「物事を批判的に見ることの重要性を知った」
- 「大ざっぱな仕組みだけでなく、それに至るまでの過程を知ることができた」
- 「先生の授業スタイルは大変参考になった。今までみてきた大学の教員の中で、最も”教員”らしかったです」

19

3. 部局が期待する全学からの支援

- FDのためのHPの一層の充実
 - FDのためのリソース集の公開
 - 授業改善の方法, 授業アンケート等の各種フィードバックを授業改善に活かす方法, 参考となる資料(書籍, 論文等), 実践事例など
- FDのための授業アーカイブの作成
 - OCW(オープンコースウェア)などを授業アーカイブとしてFDIに活用
- 授業評価アンケート用のWEB調査システムの導入
 - ・例:[qualtrics.com](http://www.qualtrics.com)
<http://www.qualtrics.com/>
- 院生のプレFD支援のためのポートフォリオシステムの導入
 - 例:[北陸先端大学院大学大学院教育イニシアティブセンター](http://www.jaist.ac.jp/cgei/fd/)
<http://www.jaist.ac.jp/cgei/fd/>

20